

News Release

『J A 共済アプリ』が『2025 年度グッドデザイン賞』を受賞

～皆さまの声に真摯に向き合い、安心を形にした体験設計が評価されました～

J A 共済連（全国共済農業協同組合連合会、代表理事理事長 村山 美彦）が提供するスマートフォンアプリ『J A 共済アプリ』が、このたび『2025 年度グッドデザイン賞』（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

本アプリは、日本国内の共済団体・保険会社として初※の快挙となった「Red Dot Design Award」受賞に続き、著名なデザイン賞を連続して受賞することとなりました。

※令和 7 年 10 月 1 日時点。J A 共済連調べ。



GOOD DESIGN AWARD
2025年度受賞

＜グッドデザイン賞 『J A 共済アプリ』紹介ページはこちら＞

<https://www.g-mark.org/gallery/winners/30979>

■『グッドデザイン賞』とは

1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「G マーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

＜参考：『グッドデザイン賞』HP＞

<https://www.g-mark.org/>



■利用者の声をもとに「ユーザーに寄り添ったデザイン」を実現した点が高く評価

『J A 共済アプリ』は、契約内容の確認、事故・災害時の連絡、災害情報の確認、防災機能など、日常から非常時までを支える機能を備えるスマートフォンアプリです。

令和 7 年 9 月末時点でのご利用者数は 125 万人を超え、全国の組合員・利用者の皆さまに広くご活用いただいています。

今回の受賞は、令和 6 年 9 月の大幅リニューアルを契機に、組合員・利用者の皆さまの声をもとに「ユーザーに寄り添ったデザイン」を実現した点が高く評価されたものです。

<グッドデザイン賞審査委員による評価コメント（全文）>

保険や共済は一般の人々にとって人生設計する上で重要でありながら、複雑で理解が難しい内容になりがちである。このサービスでは親しみやすく分かりやすい説明と、豊富なイラストレーションを活用したデザインが印象的であった。特に、もしものシーンごとに理解できるよう設計された点など、ユーザーに寄り添ったデザインの工夫が評価された。また、デザインのリニューアル後にアクティブユーザーが 2 倍に増加したという具体的な成果も評価ポイントとなった。

■本アプリが展示される「GOOD DESIGN EXHIBITION 2025」が開催

令和 7 年 11 月 1 日（土）～ 5 日（水）に東京・六本木の東京ミッドタウンで開催される「GOOD DESIGN EXHIBITION 2025」にて、本アプリを含む全受賞作が展示される予定です。本アプリのほか、グッドデザイン賞を受賞した商品、建築、アプリケーション、プロジェクト、サービスなど、1,500 点を超える「グッドデザイン」が集結します。

GOOD DESIGN EXHIBITION 2025 開催概要

会期 11 月 1 日（土）～ 11 月 5 日（水）

時間 11:00～19:00（11/1 は 13 時開場・11/5 は 18 時閉場）

会場 東京ミッドタウン（東京都港区赤坂 9-7-1）

B1F ホール・アトリウム／4F カンファレンス／5F デザインハブ

主催 公益財団法人日本デザイン振興会

※入場料は無料です



今後も J A 共済連では、組合員・利用者の皆さまの暮らしに寄り添い、安心を支えるサービスの向上に努めてまいります。

以 上